

係留観測用波力式自動昇降プラットフォーム WIREWALKER

(米国 DEL MAR OCEANOGRAPHIC 社製)

WIREWAKER とは

WIREWALKER は表層と海水中の波の波高差を利用し、海面から降下と浮上を繰り返す係留観測用の自動昇降プラットフォームです。ラチェット方式による降下システムを実現しており、バッテリーやモーターを必要としないため信頼性・耐久性に優れ、容易に扱うことができます。所定の深度まで到達すると自動的にラチェットが開放され、約 0.5 m/s で海面まで浮上します。

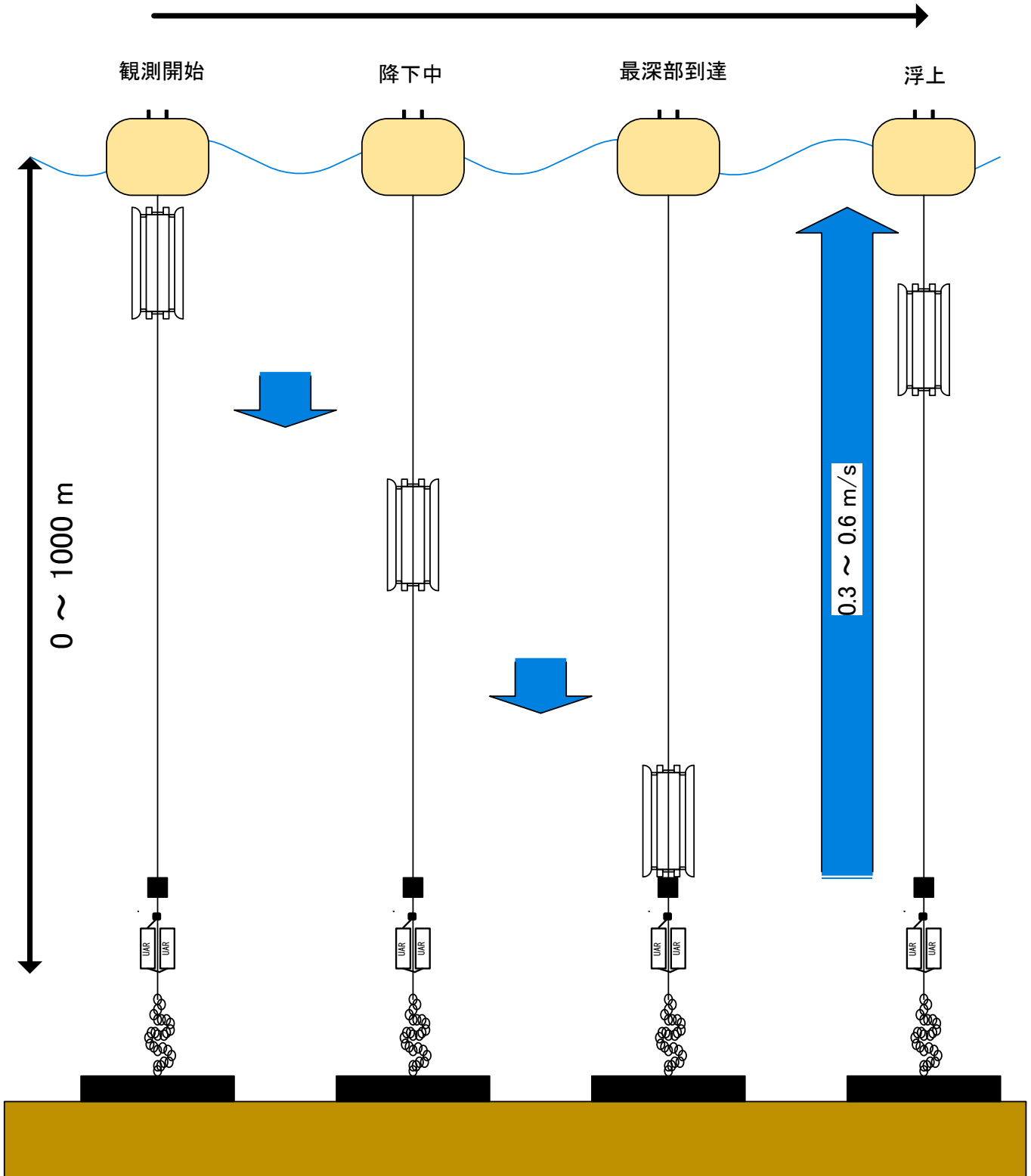
WIREWALKER には Sea-Bird 社製 CTD センサーを始めとして流向流速計など数多くのセンサーを、合計 20kg まで搭載することができます。また、Sea-Bird 社の電磁誘導モデム通信システムと組み合わせることで、自動昇降中のデータをリアルタイムで取得可能です。

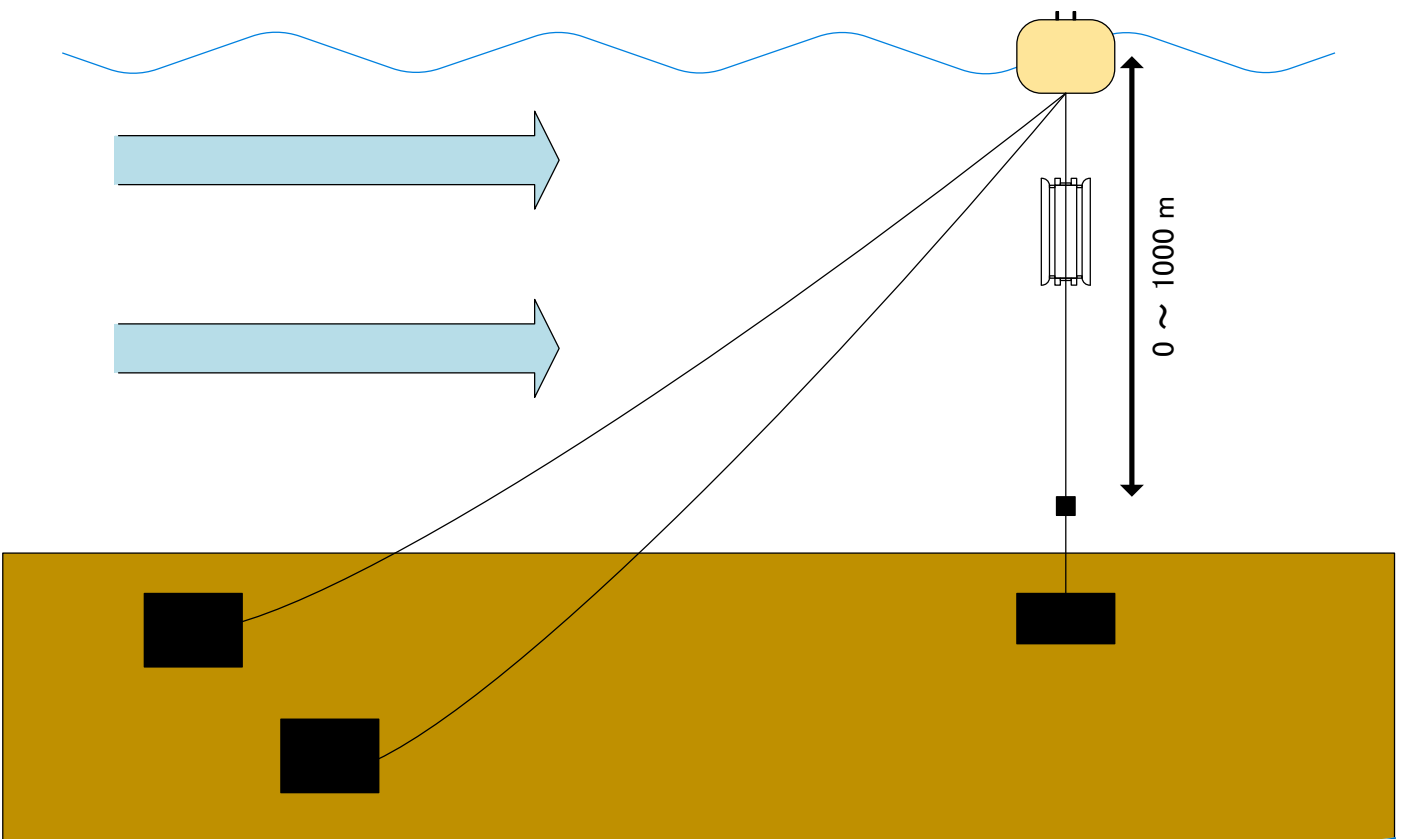
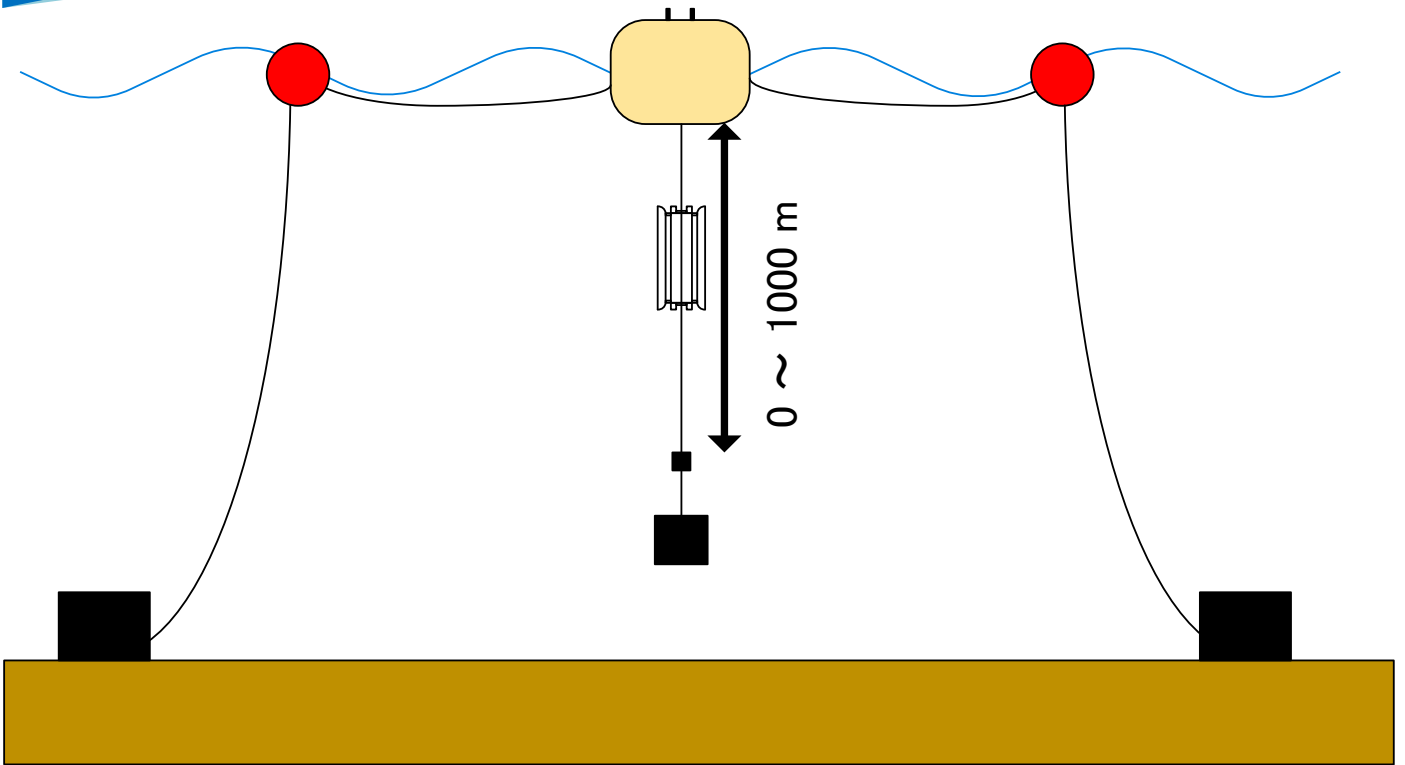


詳細仕様

大きさ	昇降機	1600(h) x 600(w) x 165(d) mm
	ブイ	900 (h) x Ø740 mm
重量	昇降機	20 kg (空中)
	ブイ	16 kg (空中)
深度		300 m (通常)
		最大 1000m まで設計可能
速度	往復	10 m/min (波の状態によって変動)
	浮上速度	0.3 ~ 0.6 m/s
必要風波		さざ波程度(風速 0.3 m/s)以上
係留索		亜鉛メッキワイヤー(4.7 mm)
ワイヤ-耐久性		往復 50000 プロファイル
搭載容量		約 20 kg

0 ~ 100 分(理想的な環境で10 m/min)





<WIREWAKER システム構成例>

浮力材
※センサー構成に基づいて
数量調整可能

センサー、バッテリー、ロガー用
取付治具（各種に対応）

ラチェット機構

